



# 五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 伊藤 淳

令和 6 年 11 月 27 日 No.7

## 「自己有用感」を育てる

『自己有用感』は、ほかの人の役に立つことや、感謝されることを通じて得られる、自分に対する肯定的な評価のことです。「自己有用感」は、「自尊感情」や「自己肯定感」とは異なり、他者との関わりの中で生まれるものです。

11月1日、1年生の校外学習が行われました。その中で、ある生徒が IC カードを落としてしまう出来事がありました。どこで落としたのかと班員全員が心配し、「回ってきたルートをもう一回見に行こう!」と班員全員で探しに行きました。最終的に、買い物をしたお店にカードが保管されており、無事に生徒の元に戻りました。この時、仲間のために行動する生徒たちの姿が印象的でした。他人のために行動する姿は、まさに『自己有用感』を育むものだったと思います。

また、近隣の小学校で行われた学習発表会にご招待を頂き参観をさせていただきました。1年生から6年生までの児童がそれぞれの役割を一生懸命果たす姿や、セリフが出ずに困っている仲間にそっと助け舟を出す場面が見られ、とても感動しました。このような経験を重ねながら、彼らは中学校に進学してくるのだと思うと、中学校で児童の皆さんに出会うことがとても楽しみになりました。

『自己有用感』を育むために大切なことは、特別なことではありません。日常生活の中で次のような行動を心がけるだけで良いのです。

1 相手の話に耳を傾け、共感すること

2 困っている仲間に声をかけ、一緒に解決しようとする

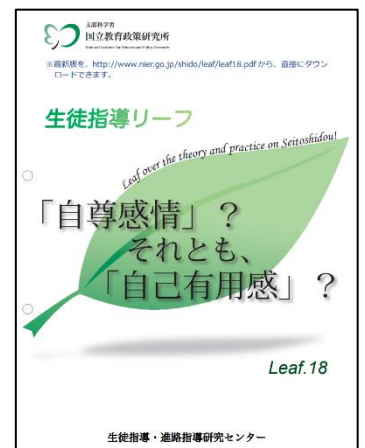
一見、自分だけが損をしているように感じることもあるかもしれません。しかし、このような行動が、いざ自分が困った時に周囲から助けってもらえるきっかけになることもあります。日常生活や普段の授業、学校行事やボランティア活動の中には、「自己有用感」を育むチャンスがたくさんあります。人の役に立つこと、喜ばれることを通じて、自分の成長を実感してみてください。学校は、皆さんの成長に欠かせない経験の場で満ちています。仲間とのふれあいを通じて、「自己有用感」を育てていきましょう。

参考資料【文部科学省国立教育政策研究所】

「生徒指導リーフ「自尊感情」?それとも、「自己有用感」?

<https://www.nier.go.jp/shido/leaf/leaf18.pdf>

【二次元コード】



## 校外学習（1学年）

11月1日（金）、上野・浅草方面への校外学習を行いました。この学習では、歴史や文化を肌で感じたり、グループで協力しながら行動する体験を通して、自主性や協調性を育む機会となりました。生徒たちは、事前に計画した行動に沿って各グループで責任をもって行動し、友人との交流や新たな気づきを得て、大変充実した一日を過ごしていました。「班で協力して計画通りに回るのが大変だったけど、楽しかった」「実際に見たり触れたりすることで歴史を身近に感じた」という声も多く、学びの多い時間となったようです。今回の校外学習を通じて得た経験が、これからの学校生活や日常生活に生かされることを願っています。



## 地域青少年ふれあいまつり音楽会

11月23日（土）明星学苑にて青少対主催の音楽会が5年ぶりに行われました。本校からは、ウィンドアンサンブル部が参加しました。毎日の練習で切磋琢磨し、その成果が形となり、演奏中の集中力や表現力には圧倒されるほどの迫力がありました。また、ボランティア活動でも本校の生徒が活躍し、受付業務やドアマン等の仕事を行いました。



## 五中生の活躍

### 【陸上競技部】

第65回府中市民体育大会秋季大会 少年対抗

走高跳 1m60cm 優勝  
女子100m 14秒62 第3位

### 【剣道部】

第65回府中市民体育大会秋季大会

中学校対抗女子団体 第3位  
女子中学生1年生の部 優勝

### 【ポスターコンクール】

薬物乱用防止ポスター

地区会長賞  
奨励賞  
佳作

### 【女子バスケットボール】

第5回全国U15バスケットボール選手権大会東京都予選

女子 第3位